

令和8年度地域の資源循環促進支援事業
「循環型ビジネスモデル実証事業（1年目）」公募採択結果一覧

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
1.	秋田県大館市	株式会社タクミ電機 工業	循環型バイオマス発電シ ステムの構築に向けた早 生桐栽培法の確立	耕作放棄地を活用し、成長の早い桐を育成して将来的にバ イオマス燃料として利用する循環モデルの実証事業。鶏糞 由来堆肥や木質焼却灰を用いた土壌改良により桐の計画的 な育成を図り、地域資源を循環させるバイオマス活用モデ ルを構築する。
2.	株式会社縁の木	東京都台東区	都市型地域資源循環 「KURAMAE モデル」の標 準化・効果測定・展開実 証 ― 街の副産物を、し ごと・学び・循環につな ぐ ―	コーヒーかすや調理くず等の有機副産物を地域資源として 活用する都市型循環モデルの実証事業。これまで「KURAMAE モデル」として実施してきた、収集・堆肥化から商品化、 環境教育までの一連のプロセスを標準化し、福祉や学校教 育と連携することで、他地域へ展開可能なビジネスモデル の確立を目指す。

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
3.	東京海上日動火災保 険株式会社	東京都葛飾区	葛飾区発のGX循環モデル ～遊んでいたら、分別が上手くなり、資源が まちに戻る世界へ～	エンタメ型ごみ拾いイベント「清走中」を入り口に、区民の分別行動の定着と資源回収を促進する実証事業。PETボトルの水平リサイクルに加え、リサイクル困難な素材の炭化処理を行い、再生素材を活用した地域商品の開発を通じて、資源循環と地域経済の両立モデルを実証する。
4.	造形構想株式会社	東京都檜原村	生活者参加型の分別回収 (原料別分別)による、 衣類の国内水平リサイクル 実証事業	衣類リサイクルのコスト要因である回収後の人手による選別を、生活者参加型の原料別分別回収に転換する実証事業。生活者が洗濯表示等を確認しながら不要衣類を素材別に分別・排出する仕組みを構築し、回収データの管理、国内水平リサイクルとの接続、トレーサビリティの確保を通じて、衣類循環モデルの成立可能性を実証する。

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
5.	アライドコーヒー オースターズ株式会社	神奈川県横浜市 兵庫県神戸市	都市型コーヒー資源循環 モデル実証事業	カフェ、レストラン、ビルやオフィスから発生するコーヒー抽出残渣を、焙煎燃料として再利用する「Coffee to Coffee」モデルの実証事業。福祉施設や物流事業者と連携し、回収から燃料化、製品化までのプロセスを検証することで、食品残渣の削減と地域内経済循環の可能性を検証する。
6.	株式会社エンテック	新潟県燕市	燕三条発、使用済みプラスチックを混色成形工 品として地域内循環させる モデル実証	使用済みプラスチックや工場端材を回収し、再生素材として地域内で循環させる実証事業。燕三条地域の工芸技術を活かした混色大理石成形により、高付加価値な製品へと再生し、再生材活用の事業性と市民参加型回収の運用モデルを検証する。
7.	一般社団法人白馬村 観光局	長野県白馬村	ナラ枯れ材などの未利用 森林資源を活用したサー キュラーエコノミー実証 事業	ナラ枯れ材等の未利用森林資源を、観光地ならではの顧客接点を活かして高付加価値化する実証事業。未利用材を観光施設等で活用する製品・資材として試作・使用検証し、森林課題を来訪客に伝えることで、観光消費を森林保全に還元する循環モデルを構築する。

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
8.	株式会社やまとわ	長野県伊那市	伊那谷アカマツ端材を起点とした森の香り循環プロジェクト ～経木製造の節部位端材から精油を抽出し、アカマツ精油の特徴を活かした製品化、売上を森林管理へ還元する地域完結型資源循環モデルの実証～	松枯れ被害が拡大する中、被害が及ぶ前に計画的に伐採・活用しているアカマツの経木製造工程で発生する端材を、精油原料として再資源化する実証事業。節部位から水蒸気蒸留により精油を抽出し、精油を活用した商品の試作・試験販売を行い、未利用木質資源の高付加価値化と地域内循環の仕組みづくりを進める。
9.	株式会社 digglue	愛知県蒲郡市	資源回収拠点の創設を起点とした、交流・滞在につながる地域循環モデル確立 — 蒲郡市・西浦温泉における「サーキュラーツーリズム」型 資源循環・共創ビジネス実証 —	既存の資源回収では対応が難しい子ども靴や歯ブラシ等を起点に、リユース・リサイクルの回収拠点「サーキュラーステーション」を創設・拡大していく実証事業。地域住民や学校等と連携して回収・交流の場を運営するとともに、「サーキュラーツーリズム」を試行し、未資源化品目の循環利用と新たな来訪価値づくりにつなげる。

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
10.	株式会社ごみの学校	京都府亀岡市	亀岡市 小型家電 国内資源循環モデル実証事業	小型家電を回収し、福祉作業所による手作業での解体・分別を通じて、基板や貴金属、リチウムイオン電池等を高精度に選別する実証事業。廃校等の未利用施設を拠点に、解体・分別ガイドラインに基づく資源価値や事業性を検証し、地域の福祉的就労にも貢献する国内資源循環モデルを構築する。
11.	一般社団法人すさみキャンパス	和歌山県すさみ町	水産加工で廃棄物となる魚のアラを用いた藻場再生・ブルーカーボン推進プロジェクト	水産加工で発生する魚のアラを活用し、藻場再生につながる資源循環モデルを検証する実証事業。鉄鋼スラグと組み合わせた腐食酸鉄による素材開発を行い、試作品の海域へのテスト投入を実施することで、地域の水産残渣削減と藻場再生、将来的なブルーカーボンクレジット活用につなげる。

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
12.	和歌山県橋本市	藤野興業株式会社	陶磁器のセカンドショット～地球に優しいアプローチ～	埋立ごみとして処理されていた陶磁器やガラス器等を分別回収し、再資源化する実証事業。破碎・加工によるゴルフ場向けバンカーサンドへの転用や、素焼き廃棄物の建設資材化を試行し、最終処分量の削減と地域内での資源循環に向けた仕組みを検証する。
13.	株式会社のきてん	福岡県豊前市	豊前海の厄介者ヒトデから抽出したサポニンによる猫・カラス対策グッズの開発	底引き網漁に混入したスナヒトデから、九州大学大学院農学研究院等と連携して有効成分を抽出し、猫・カラス対策グッズの製品化を検証する実証事業。これまでは廃棄・焼却されていたヒトデを漁業者から買い取り活用することで、漁業廃棄物の削減と地域課題解決を結び付ける新たなビジネスモデルを検証する。

	代表申請者	代表連携事業者 (代表連携自治体)	事業の名称	事業の概要
14.	株式会社和多屋別荘	佐賀県嬉野市	観光業を地域基盤とした、地域の経済・自然・文化の循環・再生につながるリジェネラティブティープログラム実証事業	茶産業と観光業を連携させ、地域資源の循環を商品価値や宿泊体験価値として評価・還元するモデルを検証する実証事業。もみ殻燻炭の活用や食品残渣の堆肥化を商品・サービスに組み込み、LCA等のデータ分析を通じて観光消費を地域資源循環や産業の持続可能性向上に結び付ける仕組みを構築する。